


【令和7年度版】

農業分野における特定技能外国人受入れの優良事例

ジャパンベジタブル株式会社(現 株式会社日本農業)※ ～さつまいもの輸出事業を展開、生産チームのリーダーは外国人～

<p style="text-align: center;">基本情報</p> <p>所在地 静岡県掛川市 耕作面積 露地 6ha ハウス 2棟 おもな作物 サツマイモ 社員構成 日本人 28人+外国人6人 (すべてインドネシア) 特定技能2号 2人</p>	
<p>特徴的な取組(キャリアアップと能力向上への支援)</p> <p>① 日本人・外国人を問わず各リーダーへの昇格の道筋を示している。 現在の生産チームのリーダーは外国人で、年間生産計画の立案や進捗状況を管理、また、大規模産地の農業従事者の元へ視察出張にも対応。</p> <p>② 自動車・重機・フォークリフト等の運転免許取得のための補助割合は会社 100%。</p>	
<p>【新規参入で、サツマイモの輸出事業を展開】</p> <p>① 親会社はリンゴの輸出をしており、輸出ノウハウがあります。そこで、アジアで人気のあるサツマイモを生産、輸出する地として静岡で新規参入しました。人材確保に困っていたところ、地元の方が外国籍の方を採用しており、とても優秀と伺い、事業の立ち上げと同時に特定技能外国人を受け入れました。荒廃地を再生し、生産を拡大していく当社の事業にとって、優秀な人材の確保は急務でした。</p> <p>② 当初は登録支援機関へ支援費を払っていましたが、費用負担が大きかったため、自社で支援することに切り替えました。書類の作成等は難しかったですが、この分の経費を採用に充てることができ、優秀な外国人の採用をさらに拡大することができました。事業展開へ大きな力となっています。</p> <p>【キャリアアップへの取組と能力向上への支援】</p> <p>(1)キャリアアップの取組について</p> <p>① 本人が記載する業務内容の評価シートを使って年 2 回、人事考課・面談による昇給・昇格の機会があり、日本人・外国人を問わず農場長・現場管理者、指導員等各チームリーダーへの昇格の道筋を示しています。</p> <p>② 代表もしくは生産事業部長との人事考課の面談の前に、評価シートの記載内容について、適格に本人の実力が反映されているか、生産チーム全員と経営企画室の職員がミーティングを行って確認しています。</p> <p>③ 現在の生産チームのリーダーは事業立ち上げ当初より在籍する 1 号特定技能外国人</p>	

が担っています。

(2)能力向上のための取組と支援

- ① チームリーダーは大規模産地で他の農業従事者から技術を学ぶ産地視察なども、参加しています。
- ② パソコンを支給して、在庫管理や進捗状況把握のための日報入力、年間生産計画立案など数字の管理等の取組を始めています。
- ③ 自動車・重機・フォークリフト等の運転免許取得については、100%教習費用の補助があります。また、教習時間も給与支払いの対象としており、教習所への通所費用の負担がないよう、送迎の対応等も行っています。現在、6名中5名が何等かの免許を取得しており、フォークリフトは4名、大型特殊免許、中型免許、普通免許については、それぞれ2名ずつが取得しています。
- ④ 2号試験については、書類の支援対応をしました。社として支援する態勢は未だ整っていませんが、内容が高度であり、合格しない場合在留の資格が切れてしまいますので、受験手続きやテキストの印刷などを支援しました。2号合格者は現在2名おり、事業を引っ張ってくれています。一緒に事業を展開していく仲間として、彼らが在留期限の制限なく在籍できることは、とても心強いです。

【外国人材へのインタビュー】



リオさん(2号取得者)



左:ランディさん(1号、生産チームリーダー)
右:ハンドコさん(2号取得者)

① なぜ日本で働くのですか、日本ではどのくらいの期間を働く予定ですか

リオ:母国では仕事がありませんでしたのと、日本での収入は母国より高いので、家族のために、稼いだかったからです。また、日本の文化とか、仕事の仕方を学びたかったです。このあと数年は働きたいです。

ハンドコ:日本の方が自分の国より稼げると思ったからです。他に農業のやり方、特にサツマイモの栽培を勉強したいと思っています。帰る時期は未だ決めていません。2号試験に昨年合格しました。

ランディ:収入の高さと農業の技術を学びたかったことが理由です。2016年に来日し、他の農家で技能実習生として働いた後、特定技能1号試験を受けました。来年は2号を受験します。できれば将来は、家族も呼べたら良いと思っています。

② あなたの仕事の内容を教えてください

リオ:選果の作業では、パートさんたちのリーダーとして働いています。どの種類の芋を何時までに何箱どこへ出荷するか等その日の作業スケジュールを組み立て、現場で指示を出しながら、オーダー通りにできるように全体を管理します。

ランディ:サツマイモの育苗から畑づくり、収穫まで、全てやります。

ハンドコ:ランディさんと同じ仕事内容ですね。一緒にやっています。

③ 職場は働きやすいですか、どんな点が働き甲斐ありますか

ランディ:働きやすいです。ここは、国籍関係なく、一緒に頑張ろう、みたいな雰囲気があって、よかったです。今生産部門のリーダーですが、キャリアの道筋が見えるところが、とてもやりがいがあります。

ハンドコ:いろいろなことを任せてくれるし、みんな仲間だから一緒に頑張ろう、という感じがあって、働きやすいです。国籍で、役割や、仕事内容が決まってしまうということがありません。

④ 職場でのコミュニケーションはうまく行っていますか、工夫している点がありますか

リオ:選果場での仕事は、日本人のパートさんが20数名いらして、そのまとめ役の方と相談したり、皆さんに仕事の指示を伝えてもらっています。また、口だけでなく自分が率先してやっていくことで、皆さんがついてきてくれています。

⑤ 仕事において、安全・衛生で特に注意していることはありますか

リオ:出荷用のコンテナをリフトで積む作業の時、大勢が作業している横を通るので、とても気を使います。コンテナは1つが20kg以上あって、1パレットに24コンテナ乗せたものを3段、4段と積んでいきます。リフトも何台か同時に稼働しているので、危険がないように特に気をつけています。

ランディ:収穫時の運搬の時は、特に気を付けて運転しています。

ハンドコ:機械の扱いや、農薬の撒き方に気を付けていましたが、薬品散布は昨年からドローンになりました。

⑥ 住居や、地域の人との交流については、いかがですか

リオ:住まいは選果場のすぐ近く、自転車で3分くらいのところにあって、とても良いです。友達に誘われて、地元の体育館でバレーボールをやっています。

ランディ:リオと同じところに住んでいます。2人1部屋で、それぞれ個室があります。不便に感じることはありません。リオと一緒にバレーボールに参加しています。外国人も、日本人も一緒に楽しいサークルです。

⑦ 2号試験は、どのように勉強しましたか

リオ:本を見て勉強するのは苦手なのですが、受験前の1か月位、YouTube や、携帯、パソコンで教科書や問題集を見て勉強しました。日本語は、地域の公民館で、ボランティアで教えてくれる方がいて、日本語の試験用の本を用意してくれました。

ハンドコ:HP に載っているテキストを読んだり、YouTube を見て勉強しました。

YouTube は、ライブ授業みたいなものもあって、項目ごとにまとまっているので、勉強しやすかったです。公民館での日本語の勉強にも行きました。ボランティアでそういうことをされていて、日本人はすごいですよね。

⑧ 今後の目標や母国での将来はどのように考えていますか

リオ:今後何年先かはわかりませんが、母国に帰ったら、油ヤシ(パームオイル)の畑を作りたいと思っています。

ハンドコ:すぐに帰ることは考えていませんが、自分の店を作りたいと思っています。日本のスーパーのような店です。

ランディ:奥さんが、料理が好きなので、カフェとかを二人でやってみたいと思っています。

※2025年調査時はジャパンベジタブル株式会社